

PressRelease

2017年4月25日
ラリタン・ジャパン株式会社

ラリタン、次世代の電源管理製品を発表 新型 iX7 コントローラー搭載でよりスマートな機能を実現

～データセンターのアップタイムをサポートし将来のニーズにも対応～

インテリジェントなデータセンター管理とラック用電源管理ソリューションのリーディングプロバイダーであるラリタン・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、米国本社：ニュージャージー州サマセット、以下 ラリタン）は本日、海外で3月に先行リリースされておりました次世代の電源管理製品ラインナップの日本国内での販売計画を発表しました。先進の iX7™ コントローラーを搭載することで、ラリタンのインテリジェントラック PDU (iPDU) の新シリーズは、スマート管理機能が強化され、将来のデータセンターインフラニーズにも対応できるようになりました。

iX7 コントローラー内蔵のラリタンの新インテリジェントラック PDU は、効率的で信頼性の高い電源管理が可能であること以外にも、計算機能とメモリの拡大によって新たな用途にも対応し、IT 機器で使用されている電気、データセンターで利用可能な電力容量、ラックキャビネット環境の健全性に関するデータを収集・分析することができます。また新しい iPDU は、これまで以上にセンシングポイントやインフラデータ収集ポイントに対応しています。

この新しい iPDU では、冗長ネットワークやパワーシェアリングなどのアップタイム向上につながる新しい機能が追加されています。さらに、ネットワーク運用コストや割高なネットワーク用ポートの使用を低減する拡張された iPDU カスケード接続機能など、費用を削減する機能も進化しました。

IT 機器は、データセンターが新たなビジネスやデジタルニーズに合わせて変更されるたびに、更新する頻度が高くなっています。ラリタンのパワーソリューション担当ディレクター、デビッド・ウッドは、次のように述べています。

「変化するニーズに後れをとることなく対応するために、ラリタンは、iPDU の頭脳であるコントローラーにより大きな計算処理能力を持たせ、カスタマイズ機能に対応するよう設計しています。それにより、将来にわたりユーザーが求める用途にも対応し続けることができます。例えば、エッジデータセンターやコロケーションでは、リモートキャビネットへのアクセスについてマルチレベルの生体認証の採用をお客様が望む場合がありますが、当社の iX7 搭載 iPDU なら、このような要望にも応えられます。また、ネットワークスピードの向上が必要になることもあるでしょう。ラリタンの iPDU はギガビットイーサネットにも対応しています。どのような課題であろうとも、ラリタンのインテリジェント PDU なら、データセンター管理の新たな用途に十分フレキシブルかつパワフルに対応できます。電力やモニタリングのインフラを交換する必要もありません。」

◆新しい iX7 対応機能

(1) 冗長パワーシェアリング

データセンターキャビネットで一般的な二重化電源を活用する際、標準 Cat5 ケーブルを使用して、A 系側および B 系側の iPDU の iX7 コントローラー間を接続することができます。いずれかの電源に電源断などが発生した場合、もう一方の iPDU が両方のコントローラーに電力供給し続けることで、入力電源断のアラートが即座に発信され、どちらの iPDU も接続が失われることはありません。カスケード接続されている下流のデバイス(iPDU や環境センサーなど)への電力供給も維持でき、ダッシュボード上でも表示も失われることがないため、平均修復時間 (MTTR) とアップ

タイムの向上につながります。

(2) 冗長ネットワークによる信頼性と接続オプションの拡大

冗長ネットワーク機能を備えているため、高可用性な接続とアクセスの幅が広がり、2つの異なるネットワークからiPDUに接続できます。また、「Monitor Only Access (モニタリングのみのアクセス)」など、各ネットワークのユーザーアクセスと使用可能機能の許可を詳細に定義することもできます。これにより権限のあるリソースが拡大し、電源のアップタイムと使用のモニタリングが効率化されます。例えば、ローカルエリアネットワークへのアクセス権を与えることなく、iPDUへのアクセスや電力データを、別のネットワーク上のコロケーションプロバイダーに提供できます。

(3) 拡張されたカスケード接続機能で、USB接続だけでなく、イーサネット接続、それらのミックス接続を実現

1つのイーサネットポートを共有することで、高価なIP接続ポートを含むネットワーク構築費用を削減できます。最大8台までできるPDUのデジチェーン接続では、2つのUSBポートのいずれかを使用する方法、またはギガビットイーサネットポートを使用したカスケード接続方法から、最良の接続方法を選択できます。

(4) 使いやすい新HTMLユーザーインターフェース

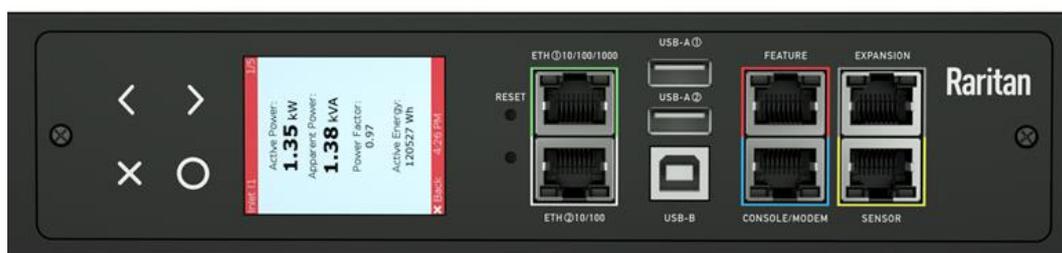
データセンターの電力データと環境情報がさらに見やすくなりました。Web GUIは応答性が高く、あらゆるデバイス、タブレット、デスクトップからアクセスできます。新たにデザインされたダッシュボードには重要な情報をいつでもすぐに表示でき、iPDUの状態やキャビネットの電力消費の履歴を容易に把握できるとともに、アラートや警告の状況も簡単にわかるため、迅速に対応して潜在的な電源障害を予防することができます。

(5) 高解像度カラー-TFTディスプレイ

iPDUが検知したアラートレベルに応じてディスプレイの色が変化するため、しきい値を超えているiPDUを現場で素早く特定し、正確な電力情報を把握して、適切に対応できます。

詳細については、こちらの新機能に関する[動画](#)をご覧ください。

● iX7 コントローラー部分



● Web ベースの管理画面



◆発売について

グローバルでは、3月14日（火）より iX7 コントローラー搭載 iPDU をリリースしております。日本においては 5月22日（月）からの発売を予定しております。それに先駆け、5月10日（水）～12日（金）に東京ビッグサイトで開催される Japan IT Week 春内、データセンター展（ブース番号：東 31-26、東 4ホール）において、iX7 コントローラー搭載 iPDU を展示、紹介致します。

◆ラリタンの電源管理製品ラインナップ

ラック PDU は、データセンターにおける最も有効なモニタリングポイントの 1 つであることを踏まえ、ラリタンは、2007 年に初めてユーザーがプログラムできるコンピュータをネットワーク接続用ラック PDU に追加し、よりスマートでインテリジェントなデータセンター実現のためのプラットフォームを生み出しました。その結果、データセンター運用者は、IT 機器の電源をリモートでオフ/オンを切り替えられるだけでなく、使用電力量、電力容量、温度、湿度や、PDU の状態、入力電源、サーキットブレーカ、各アウトレットのステータスなどを正確にモニタリングできるようになりました。

現在、ラリタンのすべての電源管理製品は Xerus™テクノロジープラットフォームを基盤としており、ラリタンが設計し所有するファームウェアスタックと物理回路層基盤で構成されています。オープンなファームウェア・アーキテクチャは、あらゆるプログラミング言語やスクリプト作成方法に対応できるため、データセンターで使用されるアプリケーションの開発とカスタマイズ、デバイスの相互運用性を最大化できます。また、Xerus では、最新のセキュリティプロトコルとアクセス認証（強力なパスワードや複数のユーザープロフィール、LDAP、RADIUS など）、ならびに BMS や DCIM などの管理システムをサポートするオープンな API が使用できます。

ラリタンの今回の発表は、北アメリカにおけるルグラン（Legrand）の最新の Eliot（Electricity（電気）+IoT）プログラムに続くもので、3月14日からニューヨークシティで行われた DatacenterDynamics-Enterpriseカンファレンスにおいて行われました。Eliot の詳細については、<http://www.legrand.us/eliot.aspx> を参照してください。

◆ラリタンのラック PDU セキュリティ

ラリタンは PDU 自体やデータ、接続先のネットワークを保護するため、PDU 内にさまざまなセキュリティ対策を施しています。

- (1) 暗号化：デフォルトで HTTPS および SSH による安全な暗号化通信を実現
- (2) パスワードポリシー：パスワード強化の仕組み（文字制限、パスワード変更の強制、パスワードの有効期限）
- (3) ファイアウォール：IP アドレスまたはユーザの役割に基づく PDU へのアクセスコントロールルールの設定が可能
- (4) 多層防御：DDoS 攻撃防御、非アクティブセッションのタイムアウト、同一ログイン情報の使用制限
- (5) 証明書：X.509 デジタル証明書により TLS の当事者双方が本人であることを保証

■ラリタンについて

ラリタンは、1985 年に IT 管理者がサーバーを管理するための KVM スイッチの開発を始めました。今日、ラリタンはルグランブランドの一員として、インテリジェントラック PDU、KVM スイッチなどのデータセンターインフラ管理ソリューションの大手プロバイダーとなりました。ラリタンのソリューションは、フォーチュン 500 のテクノロジー企業トップ 10 社のうち 9 社を含む、世界中のデータセンターで高い信頼性とインテリジェンスを提供しております。詳細については、Raritan.com/jp、[LinkedIn](#)、[Twitter](#) をご覧ください。

■ ルグランノースアメリカについて

ルグランはビル用電気・デジタルのインフラストラクチャーの世界的専門企業です。商業・産業・住宅市場での使用に対する総合的なソリューションの提供を通して、ルグランは世界の顧客にとってのベンチマークとなっています。特に、ルグランのグローバルな Eliot (Electricity and IoT) プログラムにおける使用価値を高めるインターネットに接続可能な製品など、付加価値の高い新製品を着実に提供するための革新が、成長の主要な指針です。2015 年の売上高は 53 億ドルと報告されています。ルグランは、北米および中米で確固とした地位を築いており、その有名な製品ラインには、C2G、Cablofil、Electrorack、Luxul、Middle Atlantic、Nuvo、OCL、On-Q、Ortronics、Pass & Seymour、Pinnacle、QMotion、Quiktron、Raritan、Solarfactive、Vantage、Wattstopper、Wiremold などがあります。同社はユーロネクスト・パリ市場に上場されており、CAC40、FTSE4Good、MSCI World、ASPI、Corporate Oekom Rating、DJSI (ISIN コード FR0010307819) など指数を構成する株式です。<http://www.legrand.us/>

記載されている会社名、製品名ならびにサービス名は、各社の商標または登録商標です。